

平成23年度事業計画書

(平成23年6月24日修正)

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

1. 事業実施の方針

初年度で実施した事業の継続と更なる広がりを目指し、会員をはじめとする趣旨や目的に賛同する個人や団体を増やす事に力点を置く。団体設立時目標に掲げた《間伐材ステーション》を本年度始動。参加者や支援者拡大に向け、イベント的事業や広報活動にも注力し、積極的な情報発信及び情報更新に努めると共に、専従的に事業に特化出来るスタッフを確保出来る様、事業の経済的基盤を構築する事を第一義として活動に邁進する。各々の事業に関しても、初年度の実施経験を検証した上で、必要に応じて積極的に企業や他団体・行政等との協同実施する事で、内容の更なる充実と受益対象者の範囲と人数の拡大を図る。同時に、当団体ならではの“オンリーワン事業”として定着を図る。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施場所	従事者の人数	受益者の範囲・人数	支出見込額(千円)
間伐材ステーション事業	間伐材の受入・受渡作業及びバランス管理と、ステーション作業全体調整及び、間伐・薪割体験等ワークショップの主催	通年	仙台市及び宮城県内	3人	会員 延べ20人	1,644
	薪の安定供給に伴う、定期的な間伐～搬出迄の森林整備及び、イグネ処理等作業委託	通年	仙台市及び宮城県内	3人	会員・支援者 延べ500人	
	薪作りと薪棚での乾燥及び、含水率(伐採時期)等薪の質量の管理と、需要先の開拓&販売&配達	通年	仙台市	3人	会員・支援者 延べ500人	
木質バイオマス普及事業	薪と薪ストーブセミナーの開催。多種多様層に対するバイオマス資源利用啓発により、針葉樹の燃料需要&ストーブ普及に繋げる	10月・2月	仙台市	1人	会員・参加者 延べ100人	300
	効果を充分考慮の上、地域イベント等での薪ストーブ実演会や薪ストーブキャラバンの実施	通年	宮城県内及び隣接県	2人	会員・参加者 延べ200人	
	販売代理店の設置・開拓により、普及チャネルの大幅な拡大を図り薪ストーブ普及と燃料需要拡大に繋げる	通年	宮城県内及び隣接県	2人	会員・連携者 延べ10人	
木材利活用事業	木を燃やし・木を使い・木で作り・木で遊ぶ、夫々のテーマに沿った、木を使ったワークショップの開催(出前講座含む)	通年	仙台圏中心に宮城県内	2人	会員・参加者 延べ200人	100
	学校や他団体との協同による、木製品の共同研究・共同開発 ☞商品化	通年	栗原市 仙台市	2人	会員・連携者 延べ50人	

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定日	実施予 定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支 出 見込額 (千円)
ライフスタイル提案事業	木を燃やし・木を使い・木で作る・木で遊ぶ、夫々のテーマに沿ったワークショップの開催	通年	栗原市 及び 仙台圏	4人	老若男女 延べ300人	50
木質バイオマス普及事業	薪ストーブ普及の為の啓発活動及び、薪の販売先開拓	通年	栗原市 仙台圏	2人	会員及び賛同者 延べ20人	50
	販売代理店の設置・開拓により、普及チャネルの大幅な拡大を図り普及に繋げる	通年	栗原市	4人	会員及び賛同者 延べ40人	50
	薪と薪ストーブセミナーの開催。多種多様さに対するバイオマス資源利用啓発により、針葉樹の燃料需要&ストーブ普及に繋げる	10月・2 月		仙台圏	2人	100
	効果を充分考慮の上、地域イベント等での実演会やストーブキャラバンの実施	通年	宮城県内	2人	会員及び賛同者 延べ100人	100
木材利活用事業	学校や他団体との協同による、木製品の共同研究・共同開発商品化	通年	栗原市及 び石巻市	2人	会員及び賛同者 延べ20人	1,594
竹林・森林整備事業	ワークショッププログラムの一環として参加者による間伐体験	通年	栗原市及 び大和町	2人	老若男女 延べ150人	100
	薪材確保の為の定期的な間伐実施	通年	栗原市及 び大和町	4人	会員及び賛同者 延べ40人	